

葉山参加者 22名 教員 黒沢達美 竹山協三 杉本秀彦(4期) 1期 篠田 檜 2期 白柳 勝 3期 鶴田 将 4期 佐々木文三 稲毛秀也 5期 宮内良子 6期 後藤高義 7期 鈴木立夫 中村裕介 9期 草野輝雄 13期 須島章男 14期 関田忠博

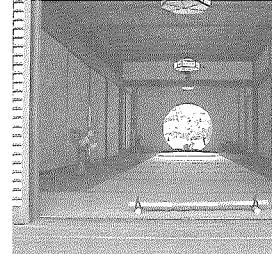
第五回 物理の集い



△中大葉山祭



2004年6月11日 参加者22名▲



翌6月12日朝 庭にて▲

川口一

18期

鈴木憲三郎

25期

神田正道

27期

村上研太郎

32期

渡辺晋史

33期

萩原幸徳

庄司晴久

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●</div

平成15年度 第6回白門物理会総会報告

平成15年11月8日(土)午後4時から理工学部校舎1号館1225号室において、総勢37名の参加のもと、6回目となった白門物理会の総会が開催されました。参加会員の協力によるスムーズな議事進行が進み、約40分程度で全ての議案が了承、確認されました。尚、式次第に沿った総会の概要は以下の通りです。



<開会宣言>

幹事会を代表して、司会者の吉川から総会の開会宣言とともに第6回白門物理会総会が開始されました。

<議長選出>

参加会員から議長立候補者の選出をはかったところ、司会者一任となつたため、幹事会推薦の篠田さん(1期)を議長に選出、議長挨拶とともに議案審議に入りました。

<平成14年度事業報告>

鶴田会長より平成14年度の事業報告がなされた、平成14年には、6月に黒沢先生、竹山先生、中野先生、杉本先生を囲んでの葉山での親睦会「白門物理の集い」を開催、8月には機関紙のイベントとして会社訪問「フクダ電子殿」、9月の機関紙発行、11月総会開催、平成15年には、3月卒業式に向けた会員募集活動、5月には理工学部新校舎への記念品贈呈、6月の「白門物理の集い」実施など多彩な事業実績の報告があり、全て了承されました。

<平成14年度会計報告>

佐々木副会長(会計)より平成14年度の会計につき、決算報告書に沿って詳細に説明、報告がなされました。

<会計監査報告>

関根会計監査から、会計報告書の記載内容につき、問題ない旨の監査報告がなされました。

<平成15年度の事業計画>

再び、鶴田会長が登壇され、平成15年度の事業計画について報告がなされ、①機関紙の発行②天文台見学③新入会員の募集④「白門物理の集い」の継続実施⑤125周年事業への参画⑥会社訪問⑦総会開催などを骨子とする計画案の説明があり、拍手を持って承認されました。

<平成15年度予算>

佐々木副会長より、平成15年度の事業計画を踏まえた予算案の提示があり、承認されました。

<閉会>

特段の質疑もなく、全ての議案の審議が終了し、篠田議長が解任を宣言し、司会から総会の閉会を宣言して第6回総会は無事終了しました。

<講演会>

総会に引き続き、国立天文台助教授で日本スペースガード協会理事長である磯部勝三先生から「小惑星衝突問題を考える。一生進化と人類滅亡の可能性」と題したご講演を頂きました。

講演の内容は大変興味深いもので、46億年にもおよぶ地球の歴史の中で、初期には大量の、そしてその後は減ってきているものの、常に小惑星の衝突を受けており、生命種の盛衰を見ると、殆どの種がある特定の時期に減る大量絶滅を経験しているといふものです。有名なのは6500万年前の恐竜の絶滅で、直径10kmの小惑星衝突がこの原因であるという説が有力になってきており、そのような衝突は再び起こり得るのか、もしあれば、それは人類滅亡をもたらすだろうということを、現代天文学は解明かしつつあるというお話をでした。

直径10kmの小惑星が地球に衝突したときのエネルギーと、それに起因する地球のダメージの推定などを様々な資料から説明して下さり、お話を聞きながら一方で「アーマグドン」や「ディープインパクト」といったSF映画のワンシーンが脳裏を掠めました。



講演後も、聴衆から活発な質問が出されました。わかりやすく応答され、そのうえ、聴衆全員に多くの参考図書、資料をお渡しされ、大変有意義な講演となりました。

(記 第18期 吉川秀雄)

編集後記

街角や電車の中で携帯電話を操作している人を日々見かけます。契約台数が8000万台を超えたそうで、これは利用できる年齢を考えるとほぼ1人1台です。ただ困ったことにそれを買ってどこか契約したらいかわからせん。1台で全ての機能を備えているわけではなく、普通の家電製品と違って機種や契約先によって機能やサービスが様々なのです。目的に合ったものを選ぶ、すなわち自分がなんのために使うかを明確にしなければならないということです。電話機能だけであればどれでもかまわないのですがそれでも気になります。ハードソフトそれにサービスが目まぐるしく変わっていて、個人向けビジネス向けの商品が色々と開発されているようです。1人で何台も持つ世の中になるのでしょうか。

原稿をお寄せくださいました皆様、お忙しいところありがとうございました。御礼を申し上げます。

白門物理のホームページご覧いただき、本紙とともに意見や感想をお寄せください。

<http://www.hakumon-butsuri.com/>

編集委員長 関根行雄

編集委員 杉本秀彦、佐々木文三、吉川秀雄、鈴木毅則、庄司靖久、萩原幸徳

協力 篠田彬

顧問 清水正

第三十九期 駒田 清香
はじめまして駒田清香です。2004年3月にからうじて卒業しました。物理学科を卒業したい

でも、中大生協で雑誌を見ているところや、食堂で食べていろいろところをよく目撃されています。

大学の友人たちとは、頻繁に会うことはないですが、自分のHPを持っている人が多いので、そこでやりとりしています。

同期の入会が少ないのはそのため、久しぶりに会っても、久しぶりな気がしません。

しかし、いまのままでちょっとばかりさみしいのことでしようか。

門物理会の案内を載せようかと思っています。

ごあいさつ

今年12月に行なわれるロケット観測のデータ解析をする予定です。

そのほかに、将来の太陽

の観測に参加し、また、す

ばる望遠鏡を超える、30m

望遠鏡時代に向けて、微力

ながらお手伝いをしてい

ます。

大学の友人たちとは、頻

繁に会うことはないですが、自分のHPを持っている人が多いので、そこでやりとりしています。

同期の入会が少ないのは

そのため、久しぶりに

会っても、久しぶりな気が

しません。

しかし、いまのままで

ちょっとばかりさみしいの

ことでしようか。

しかし、いまのままで

ちょっとばかりさみしいの

ことでしようか。